障害者支援施設いずみの里・第二いずみの里
グループホーム　陽だまり

令和７年度　第１回　地域連携推進会議

日　時	令和７年11月17日（月）　14：00～16：00
場　所	第二いずみの里　作業室
出席者	入所ご利用者代表：成年後見人（行政書士）１名 グループホームご利用者代表　１名 いずみの里家族代表　１名、第二いずみの里家族代表　１名 川東駐在所　１名、五泉市健康福祉課・地区担当者　２名 いずみの里職員４名、第二いずみの里３名

議　題	協　議　内　容　・　結　果
1.開会あいさつ	・お忙しい中での会議出席、また快く委員を引き受けてくださり感謝いたします。 ・いずみの里、第二いずみの里では以前は地域住民と様々な交流があったが年々高齢化が進んだことにより交流の機会が減ってしまった。加えて新型コロナ感染症対策によりほとんどなくなってしまった。 ・施設が閉鎖的にならないよう年１回のこの会議が義務化された。せっかくの機会であり、ご利用者が地域で安心して生活できるよう参加された皆様から様々なご意見を頂戴したい。よろしくお願いいたします。
2.自己紹介	・「地域連携推進会議出席者名簿」に沿って自己紹介いただく。
3.各事業所の紹介	・⑴障害福祉事業部紹介動画　内定式に用いた動画にて施設での取り組みを観ていただく。 ・⑵各事業所の現況　※配布資料に基づき説明 <u>①いずみの里</u> ・昭和56年開設、44年が経過。定員40名の施設で最高齢の方は83歳。平均年齢が59.2歳、平均障害支援区分5.2と入所者の重度・高齢化が課題。 ・ひとり一人必要な支援が異なるため、個別支援計画に沿って多職種協働で支援を行っている。外出やレク、季節行事など余暇の充実も進めている。 ・通所生活介護、短期入所等在宅ご利用者へのサービスも併設。入所者に加えて地域で暮らす障害者が安心して過ごせるよう今後も支援したい。 <u>②陽だまり</u> ・陽だまりで支援するグループホームは現在４棟あり、橋田地区に２か所、木越に１か所、村松に１か所。橋田地区の２棟は夜勤もしくは当直職員を配置して支援している。

議　題	協　議　内　容　・　結　果
3. 各事業所の紹介 （つづき）	・令和７年３月末では26名在籍していたが、高齢ご利用者が特養へ移行したり日中支援が受けられるＧＨに転居、また支援度が増したご利用者がショートステイを利用しながら入所待ちをする等で退去が続き、現在は20名となった。ご利用者が減った関係で村松の１棟は今年度で閉寮予定。 ・地域住民の方に支えられて生活が成り立っている。引き続き地域の皆様からの温かいご支援を賜りたい。 <u>③第二いずみの里</u> ・平成12年開設の定員50名の入所施設（3月末は48名だった）。16名の方が開設当時から過ごしているが、重度化は同様に課題としてあり、入所者の入れ替わりが時々ある。在宅ご利用者の登録は10名で、将来的には施設入所を考えて第二いずみの里をご利用される方も多い。 ・平均障害支援区分も5.3と高く、行動障害を有するご利用者も複数いる。支援度が高いため、昨年度から日課の大幅な見直しに着手している。
4. 質疑応答	・重度化高齢化によりご利用者の退所があると言うが、退所された方の代わりに入所される方はいるのか？（入所家族代表） →　施設への入所待機者は複数いるのが現状で、退所者が出た場合は待機者から順に入所する形となる。（行政地区担当者） ・グループホームでの地域との交流はどのようなことがあるか？ →　近隣で開催されるお祭り、行事等にお誘いがあり参加することがある。グループホーム近隣での課題もあり、スーパーマーケットには迷惑をかけた場面があった。ご利用者の障害特性などをお話しすることで理解が得られたケースもあり、近隣住民からのご理解、ご協力は地域生活を送る上で欠かせない。
5. 閉会あいさつ	・今年度初めての開催であり、今回は各施設、グループホームの紹介が主であったが、今後会議を重ねていく中で地域の方々との関係づくりが進めらると良いと考えている。これから行う見学でも様々なご意見をいただきたい。今後ともいずみの里、第二いずみの里、陽だまりをよろしくお願いいたします。
6. 施設見学	※二グループに分かれて入所施設２か所、グループホーム３か所を見学していただく。 以上